



清水ヒデキ

豪援隊隊長・

弁護士・移民コンサルタント
(MARN: 9900985)

「オーストラリアから日本を援けよう」と豪援隊発足。16歳に単身オーストラリアに留学。その後ボンダイ大学卒業後、QLD州弁護士資格取得。長年に渡り、日本人ならびに日系企業、世界各国のクライアントのコンサルタント業務に従事。

豪援隊かわら版

<今月のジョーク その1> 妻の味

ある所に息子夫婦と舅(しゅうと)が三人で住んでいた。

一年前に他界した姑女(しゅうとめ)は、とても温和で上品な人、嫁にも優しい人であった。

が、舅の方はそれと反対に、頑固で少々意地の悪いところがあった。

かいがいしく世話をする嫁の行動に、いちいち文句をつけるのだ。

中でも味噌汁については

舅:「婆さんとは全然味が違う、なつとらん! 本当に覚えが悪い嫁だ!」

と毎日嫁を怒鳴りつける始末。

ある日、とうとう頭にきた嫁は舅に出す味噌汁の椀に、こっそりと殺虫剤を振りかけた。

その味噌汁を一口すすった舅が一言。

舅:「これじゃよ! この味じゃよ!! 婆さんの味噌汁は!!」

(ジョーク集より)

<今月の視点 >

2月ももうすぐ終わりですね。2月は昔から「逃(2)げる月」とも呼ぶようで、短い月ということもあり、あつという間に過ぎ去っていくことから、こう呼ばれているそうです。新年を迎えたばかりと思ったら、もうすでに2月も去り行くということで、時間の経つのは早いなあ、改めて感じます。

そんなこんなで、今月の視点です。

その1 バレンタインデー

まんまと製菓会社の作戦にはまった日本では、一般的にこの日は女性がチョコレートを男性に送る日となりました。この日はチョコレートをあげるほうも、もらう方もどこかそわそわ、どきどきします。こうしたチョコレート戦線が勃発する日本と異なり、オーストラリアのバレンタインデーは夫婦や恋人たちの間で、主に男性が女性に対して愛を告げる日として、(おそらく)本来の意味でのバレンタインデーが営まれます。(ちなみにホワイトデーたるものも、日本の製菓会社の策略で、オーストラリアでは存在しません。)

普段からロマンチックで、奥さん思いの筆者。この日出勤した際、街に赤いバラを抱えて歩く男性が多いのを見て、今日は記念日のカップルが多いんだなあと思っておりました。そうです、その日がバレンタインデーであることは、まったく忘れておりました。しかし、そこは有能な当方のアシスタント。うちの奥さんに渡せるように赤いバラの花束を用意しておいてくれました。(後でしっかり、花代は請求されましたが(笑)。)しかし、このおかげで世界の秩序と平和が守られ、また地球に愛と平和がもどったのであります。めでたし、めでたし。

その2 トヨタ撤退

先月号でもお伝えしたトヨタ撤退の話が正式なものになったというニュースが大々的に伝えられました。2017年までに徐々に撤退するというのですが、今回の一連の自動車業界のオーストラリア撤退により、5万人以上の人々が職を失うこととなるとあるニュース番組では伝えていました。メディアの報道では、一番大きな問題であるオーストラリア人労働者の高賃金とモラルの問題はあまり触れられず、現政権に対してこうした雇用機会の喪失を止める方法はないのかという質問が多く聞かれました。どこのメディアもあまり本質の問題には触れようとしないところを見て、改めてオーストラリアにおける労働者の強さを見た気がします。

(右上に続く→)

野党代表であるショーテン議員は、現政府が公的資金を導入してこうした企業のオーストラリアにおける操業の継続を確保できなかったのは、今の政府があまりにも無能だからだと声高らかに叫んでいました。

しかしながら、こうしたショーテン議員の意見に対してオーストラリア国民があまり同調する気配がありません。それどころか、ショーテン議員の支持率が低下につながっているそうです。もちろん、きちんとした労働者の雇用機会の保護をしていくことは重要ですが、それと同時に国民は今回のこうした各種製造業のオーストラリアからの撤退に関しては、前労働党政権の過保護な労働者保護と無駄な予算使いに原因を帰することだと理解しているようです。

その3 SPC社の工場閉鎖

トヨタやその他の自動車工場の撤退よりも、当方が問題視しているのはこのオーストラリアの缶詰製造会社のSPC社の閉鎖です。この会社は野菜やフルーツの缶詰を生産していた会社ですが、昨今安い海外産の缶詰にマーケットシェアを奪われ、売り上げが伸びず、その結果工場の閉鎖につながったということです。ここでも政府補助金を出す出さないという議論がありましたが、残念ながら補助金が出される見込みは立っていません。そのため、自動車業界に続いて他業種においても、また多くの従業員が職を失うことになりました。もちろん、補助金を出さない現政権に対する批判の声もありましたが、民間の企業を政府が援助するということは、それほど簡単なことではありません。そして、残念ながら、今回のSPC社の問題については、今後のオーストラリアの食物政策を考える意味で、非常に大きな事件となりました。

SPC社が缶詰として利用していた野菜や果物はオーストラリアの農家からの仕入れがほとんどでした。そのため、今回SPC社が閉鎖することにより、SPC社へ作物を納品していた農家の方々も大変な打撃を受けることとなります。多くの農家では、廃業を余儀なくされるということになり、このことは今後のオーストラリアの食物自給に大きな影響を与えます。

製造業もだめ、観光業もイマイチ、資源業界は波が激しいとなりますとオーストラリアが唯一誇れるものといえば高い食物自給率であり、安心安全な食物を生産できるということでした。しかし、今それも安い輸入品のために崩壊しつつあります。

オーストラリアにおける農地や牧場等の外国資本による買占めは、すでに始まっています。近い将来、日本も中国やインドにお願いをしてオーストラリアから食べ物を輸入しなければいけないということになるかもしれません。

<今月の学校紹介> PLUS ONE POINT



ビザ申請に必要な IELTS ポイント取得に
耳寄りの情報！
サウスポートにある日本人用 IELTS 専門
の学校をご紹介します。

日本語で学ぶ日本人のための IELTS 専門講座
学校の特徴！

1. フレックス制

当校のコースはフレキシブルに IELTS を学びたい方のために Flex 制にて提供しております。受講生様はご都合に合わせて好きな時間帯、科目を選択、予約して頂けます。予約は当日でも承っておりますので、急に時間が空いた場合でも受講可能です。

2. 夜間コースあり

お昼間お仕事で忙しい方のために、夜間も授業を行っております。最後の授業は 18:50-20:50 です。

3. 日本語で学べます

授業は日本語で行われますので、日本語で徹底的に質問して頂けます。

4. 少人数制

少人数制のアットホームな雰囲気ですので、受講生様ひとりひとりのニーズにあったアドバイスが可能です。クラスの人数は現在 2、3 名、最大でも 6 名までとさせていただきます。

5. 初心者でも Ok

語学学校のアイエルツ集中コースはバンドスコア最低 5.0 レベルの英語能力がなければ入学すら出来ません。当校では英語の勉強を全くしていない初心者でも確実にスコアアップ出来ます。

日本や遠方で学校に通えない方々の為に、3 月よりスカイプを利用したオンラインプライベートレッスンを開講予定！

どうぞお気軽にご連絡下さい！

住所: 1405/56 Scarborough St. Southport QLD 4215
電話: 07-5564-0504, 0416-592-900 (日本語 OK, SMS 可)
ウェブサイト: <http://ielts.jp>

<今月の気になる記事>

Chinese outdrink French in red wine for the first time (中国が赤ワインの消費量においてフランスを越える)

The Courier Mail
2014 年 1 月 30 日付

ワインをお好きな方は多いと思いますが、ついにやってきたかという記事がありましたので紹介いたします。

とある調査によりますと 2013 年に香港を含む中国の赤ワインの消費量は 1 億 5500 万ケースであったということでした。この消費量はフランスの 1 億 5 千万ケースを抑えて 1 位、それ以外にイタリアの 1 億 4100 万ケース、アメリカの 1 億 3400 万ケース、ドイツの 1 億 1200 万ケースとワイン消費国を抜きました。

2011 年以降、アメリカがワイン全体としてはあ消費国第一位ですが、今回の調査結果は中国の生活レベル向上、そして外国製品に関する需要の高さを示す結果となりました。中国の人口と、全体的な生活レベルの向上を考慮しますと、今後ますますワインの需要も高くなると考えられます。ワインと同様に、ここ最近ではオリーブオイルに対する需要も高まっているとか。中華料理にはオリーブオイルは使われませんので、ここでもイタリア料理等の西洋料理の進出、ならびに中国での活発な受け入れが行われているということでしょう。

< 今月の名言 >

お子さんに「何のために生きるの？」と聞かれたら、「誰かを幸せにするために生きるのよ」と答えてあげて下さい。人とつきあうのに秘訣があるとすれば、それはまずこちらが相手を好きになってしまうことではないでしょうか。

一日に一回は鏡を見る方がいいです。できればにっこりと笑ってみて下さい。心にわだかまりがない時は、表情がいきいきしているはずですよ。

学校の成績なんて気にすることはありません。何か好きなことが一つあって、それを一生懸命できるということが人生の一番の喜びなんです。

(瀬戸内寂聴)

Go Australia Visa Consultant

Go オーストラリアビザコンサルタント ブリスベン事務所を新規開設いたしました。(ご面会のご予約制となります。)

このかわら版、またはビザに関する質問、お問い合わせは、こちらまでお気軽に！

ゴールドコースト事務所 住所: Suite no.222 Level 2 Watermark Hotel
3032 Surfers Paradise Boulevard Surfers Paradise QLD 4217
郵送先住所 PO Box 481 Isle of Capri QLD 4217
電話: +61-7-5570-4542, Fax: +61-7-3319-6131 (担当: 関)

ブリスベン事務所 住所: Level 4, 99 Creek Street, Brisbane QLD 4000
郵送先住所 P.O. Box 12257, George St, Brisbane QLD 4003
電話: +61-7-3040-2116, Fax: +61-7-3319-6131

E mail : info@goaustralia-visa.com

Website : www.goaustralia-visa.com